

# 魔女っころルの幸せの歌♪

Song

# 5

河村留理子 Web <http://looloo-ruiko.com>

Blog <http://ameba.jp/salon-de-lulu/>

魔法の出張オーケストラ <http://lulu-music.jimdo.com/>

2018年8月1日発行

## 河村留理子 ヴォーカリストへの道 第五幕・クレイジー・ルルと着物ライブ

二十六歳。いよいよ海外留学先を決めるその時。選んだのはアイルランド。やっていったフラメンコのス페인に近い英語圏にあって、大好きな弦楽器の国。一年半のアイランド生活がはじまりました。

どこまでも広がる自然。美しい海。パブに行けばまちのオジサンたちの楽しそうに楽器を聴く姿。水のように飲まれるギネス。馴染んでいく私。

現地ではミュージカルの学校に通っていました。名作「シカゴ」では日本人役。あまりのはっちゃけっぷりに「クレイジー・ルル」と呼ばれるほど。楽しかったな♪

もちろん歌の練習も欠かさずに。練習場は近くの港。誰もいない海に向かって大声で唄えば気分爽快★その成果をお披露目するのは街の商店街。やっぱりインパクト勝負。着物でライブしてました

(笑)アイルランド民謡には日本の懐かしいメロディーと通ずるものがあるみたい。世界的に有名な「上を向いて歩こう」が一番人気。ときに飛び入りミュージシャンとの即興も。ヨーロッパのストリートでバッチリ鍛えられて帰国。日本での本格活動スタートです♪



ヨーロッパ想い出ぼろぼろ  
アイルランドでのバイト先の名前はズバリ「YAMAMORI(山盛り)」。お寿司とラーメンのお店。向こうでは「日本食」ヘルシーのイメージが定着していて、お店は大繁盛。でも作っていたのは中国の方なんです。ラーメンと言えるか分からない味。しか



～ウチのワンちゃん～

私が中三のときに家にやってきたマロン。本当に優しく、賢くて、可愛かったな。高校の時は家に帰れば毎日いっしょに散歩。一人暮らしをするようになってからも、毎年マロンのお誕生日には必ず帰っていました。

### 私の妹、マロン。

マロンは妹のような存在。落ち込んだ時、いつも癒してくれたマロン。小さな動物が大好きだったマロン。天国で今も仲間と楽しく暮らしてるんだろね。

留理子からマロンへ。「妹ができたみたいで嬉しかったよ。沢山の思い出をありがとうね♪」



成人式の日にマロンと

### ④バイト先は「山盛り」

も一杯二千円。それでも売れてしまうのが不思議なところ。美味しそうに食べているオジサマ方を「見て、「まあいっか」と思うのでした。たくさんのお客さんと話して、ときに慌てながら覚えて行った生の英語。もしかすると英語学校よりもためになったかも(笑)

日本の文化を愛してくれるアイルランドの人たちを愛おしく感じたバイト生活でした。



### 編集後記

今回のインタビューではいよいよ世界へ。河村さんのライブで必ずと言っていいほど出てくるアイルランド音楽のルーツはここにあったのですね。「ジャズアメリカ」のイメージが強いですが、河村さんはヨーロッパの音楽をふんだんに取り入れた「留理子流」を目指しているそうです。

二月にはご自身にとって一年で最大の晴れ舞台となるバースデーコンサートが開かれました。六本木の素敵なライブレストランで。それはゴージャスなものでしたね。

近々、初の居酒屋ライブも決行との事。型破りは続きそうです♪(安藤信作)

### ボクは小さな新聞社♪

あなたの活動や想い、お店の魅力を温かく綴り、世界に一つだけの新聞を作ります。  
<http://www.boku-chi.jimdo.com>

TEL:090-7414-5595

安藤信作  
(あんどうしんさく)

